

平成24年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	京都大学
申 請 区 分	Ⅱ
構 想 名	「開かれた ASEAN+6」による日本再発見—SEND を核とした国際連携人材育成
<p>〔評価コメント〕</p> <p>本構想は学部から大学院博士課程までの長期的な育成計画であり、体系的かつ独創的である。また、アジア学研究の大学院構想が明確であり、日本再発見、国際連携人材育成を扱った優れたプログラムである。また、本プログラムの複言語研修は特色的であり、世界を視野に入れた横断的アジア研究に当たって、言語的に溶け込みながら、日本がリーダーシップを取る必要があるという視点は素晴らしい。</p> <p>ただし、複言語教育で、CEFR（欧州言語共通参照枠）A2 レベルなど、要求する目標が高いため、構想目標と現実の遊離がないように努力が必要である。また交流先の大学数が多く、「豊富なアジア現地体験、広い視野と新たな視角、高度な能力を有したアジアのトップリーダー、グローバル人材を育成する」とあるが、どの様な学生をどのように育成するのか具体的な内容が見えにくく、連携したプログラム展開により、アジアのコミュニティに必要な人材が育成できるのかが明確ではない。</p> <p>最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	